

# 2020 年度青島日本人会 総会 議 案 書

## 第 1 号議案 2019 年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

## 第 2 号議案 2019 年度会計報告

## 第 3 号議案 2019 年度会計監査報告

## 第 4 号議案 2020 年度理事及び監事選任

## 第 5 号議案 2020 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

## 第 6 号議案 2020 年度 収支予算案

以 上

## 第1号議案

### (1) 2019年度活動報告(全般)

青島日本人会会長  
能勢 稔彦

#### 1. はじめに

会員の皆様には日頃より青島日本人会の運営、活動に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスの世界的拡散を受け、今年度の総会開催は中止とし、メール形式にて、皆様方に御報告する形を採らせて頂きます。

19年度(令和元年)を振り返ってみますと、中国国内では、建国70周年記念式典が成功裡に終わり、また青島では、青島多国籍企業サミットが開催され、山東省が一躍注目を浴びたという良いニュースもありましたが、一方、外に目を向けると、中米貿易戦争から始まり、日韓問題、英国のEU離脱、中東情勢緊迫、香港問題、そしてダメ押しがコロナ・パンデミックで、習近平・国家主席の来日、東京オリンピックの開催が順次延期されました。

このような厳しい事業環境の中ではありませんでしたが、日本人会として、事務局との意見交換を数回にわたり行い、それに基づいた形で会員の皆様方にアンケートをお願いし、意見を集約、現状の要望などを提議させて頂きました。また、コロナ発生後は、在青島日本国総領事館・ジェトロ青島事務所とも連携させて頂き、会員様が必要であろうと思われる情報を収集、発信させて頂きました。

#### 2. 青島日本人会の活動について

我々青島日本人会は、明るく元気な日本人コミュニティを、青島に根付かせ、発展させてゆくことを使命として、今年も活動してまいりました。

2019年度の活動内容につきましては、各理事よりの報告書を御参照下さい。今年度も、会員皆様の御支援、御参加の下、ほぼ全ての計画を予定通りに実施する事が出来ました。商工会のセミナー、各部会の交流活動はじめ、毎年恒例の納涼祭には400名強の会員様の御参加を得ました。また、日本人学校御協力の下開催しました運動会では、150名近い方々に御参加頂き、非常に盛り上がったと聞いております。

また、在青島日本国総領事館・ジェトロ青島事務所様とは常に連携させて頂き、当局との面談や山東省内の地方都市と一緒に巡回する等、多彩な活動を行わせて頂きました。

一方、日本人会運営において、コロナという特殊事情はあるにせよ、輪番制の崩壊や各種部会活動において、一層の工夫・改革が求められています。これらの課題に関しては、これまで先輩方が築いてきた青島日本人会の良き伝統を継承しつつ、新しい環境に即したあり方を模索しながら、来年度にて、しっかりと議論・改善を行っていく所存です。

最後に本年度の活動に御尽力、御協力頂いた会員皆様にお礼申し上げますと共に、各種活動に御支援頂いた在青島日本国総領事館・ジェトロ青島事務所様に感謝申し上げ、私からの活動報告とさせて頂きます。一年間、誠にありがとうございました。

## (2) 商工会 活動報告

商工会会長 重岡 佐知子  
副会長 別所 良起、杉田 貴史  
松沢 隆、佐藤 冬樹

### 1. 活動実績報告

青島日本人会商工会は、企業活動に関わる有効な情報交換の機会を提供する事を主要目的として活動しています。具体的には、会員企業の業種、業態に応じ、分野別に4つの部会を設け、各部会内での情報交換や交流会、社外見学会などを開催しました。もう一つは、会員さまの関心の高そうな、又は事業活動に役に立つであろうテーマを選定し、専門講師によるセミナーを通じて、それらの情報発信などを実施しました。

各部会の活動実績につきましては、各部会長からご報告をお願いする事とし、私からは今年度実施したセミナーおよびその他の活動内容について、ご報告させていただきます。

### 2. 活動内容

#### (1) セミナー

① 第1回 (7/11 在青島日本国総領事館共催)

『日中社会保障協定発効に関する説明会』  
厚生労働省年金局及び日本年金機構担当者

② 第2回 (7/23 ジェトロ青島事務所共催)

『管理者の為の「実践的」休暇管理テクニック講座&社会保険実務最新情報』  
立動法律事務所 代表弁護士 章 啓龍 氏

③ 第3回 (9/3 ジェトロ青島事務所共催)

『中国税務、関税、移転価格の最新動向と日系企業における対応策』  
KPMG ディレクター 松田 健輔 氏  
KPMG ディレクター 李輝 氏

④ 第4回 (9/20)

『中国人管理者育成セミナー  
～ローカライゼーションの推進と管理者の意識付け～』  
大地法律事務所 熊 琳 氏

### 3. 総括

商工会では、会員企業の中国での事業発展、円滑化に役立つ活動を心掛け行って参りました。従来から実施している主力活動であるセミナーは、合計7回実施を予定しておりましたが、コロナウィルス関連の影響により、4回しか実施できずご準備頂いておりました講師の諸先生方、及び関係者にこの場をお借りしてお詫び申し上げます。セミナーにおいては、税務、法務、中国経済動向に関するテーマのほか、高級管理職の現地化の増加（準

備)に伴い今回日本人会商工会として初の試みとして中国人管理職育成セミナーを実施致しました。参加頂いた会員企業の方々からは非常に好評でありました。

まだ改善や工夫の余地もあると考えておりますので、会員皆様の要望を収集し反映させていければと思います。

なお、在青島日本国総領事館には、商工会活動へ多大なご協力、ご支援を頂きました。セミナー講師のご手配、中国各種団体との交流機会のご提供、有事の際のご対応など各種サポートに、この場を借りて感謝申し上げます。そして、総領事館におかれては、引き続き商工会活動へのご支援をお願いしたいと考えております。

最後に、セミナー開催、その他商工会活動にご協力を賜りましたジェットロ青島事務所、膠州、黄島、城陽、即墨の各地区日本人会の皆さま、そして業務ご多忙のなか、商工会活動にご参加賜りました会員企業の皆さまに深く感謝申し上げます、私の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

## 《食品部会》

部会長 別所 良起

副部会長 松本 秀二、滝浪 晋、山本 正広

### 1. 2019年度活動報告概要

2019年度の食品部会は、会員の皆様にとって、有益な機会となるように、工場見学とセミナーという内容で活動を企画いたしました。会員の皆さま、訪問させていただきました企業さま、ご講演いただきました講師の先生方、ご協力をいただきましたジェットロ青島事務所の皆さま、その他関係各位のご理解とご協力・ご支援によって、見学会を1回、セミナー1回の計2回の部会を開催し、多数の皆さまにご参加いただくことができました。例年、年3回の活動を実施してきましたが、本年度は新型コロナウイルスの影響により、第3回の食品部会開催は行わないことといたしました。

ご協力頂いた皆さまとご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

### 2. 活動実績

#### ① 第1回部会 (5月30日:木)

青島新東機械有限公司(胶州市)の見学 (22名参加)

膠州市「和食 皋月日本料理」にて懇親会 (20名参加)

#### ② 第2回部会 (9月9日:月) クラウンプラザにてセミナー (51名参加)

テーマ1:「中国における日系コンビニエンスストアの事業戦略」

講師:同志社大学 商学部

助教 章 胤杰 先生

テーマ2:「中国のEC市場と消費者の動向」

講師：大東文化大学 外国語学部  
専任講師 森 路未央 先生  
「ヴェルデ」にて懇親会（41名参加）

### 3. 2020年度の活動方針

2020年度については、現状、収束による行事の再開時期が不明ですが、開催可能となりましたら、前年同様に、食品関連企業・関連施設等の見学と、食品関係の情報発信の二つを活動の中心に据えて、活動を企画していきたいと考えております。

情報発信につきましては、引き続き在青島日本国総領事館、ジェットロ青島事務所、在中国日本国大使館等と連携を密にして、会員の皆様に有用な情報をタイムリーに発信していきます。毎回の部会後は懇親会を設定し、積極的な会員間の交流・親睦を図っていきます。

以上の活動方針のもと、少しでも多くの会員さまに参加いただけるよう活動していく所存ですので、何卒よろしく申し上げます。

#### 《繊維部会》

部会長 杉田 貴史  
副部会長 青木 功

#### 1. 部会開催状況

2019年度は、年3回の開催を予定していましたがコロナウイルスの影響により、6月と11月の計2回部会を開催致しました。  
部会について、1回をミニセミナー形式で市内ホテルでの開催、1回を工場現場見学を実施し、各部会終了後には懇親会を開催し、相互交流を深めました。

① 第1回 6月14日（金）

会議場所：クラウンプラザホテル 3F 会議室 （参加者数：24名）

懇親会：博多 （参加者数：19名）

② 第2回 11月4日（月）

工場現場見学：青島栄花辺紡績有限公司（栄レース株式会社）（参加者数：18名）

懇親会：一休ちゃん （参加者数：15名）

#### 2. 活動内容

第1回目は、新年度の初めの部会であり、役に立つ情報発信をということで2つのテーマについてミニセミナーを行いました。（①繊維製品についてお問合せ事例と試験方法の解説（ニッセンケン）②中国内販に関する法規制の解説（カケン））

また、懇親会では各部会メンバーより、会社の紹介も含め自己紹介をして頂きました。

第2回目は、例年 工場見学を行っており、今年度は青島栄花辺紡績有限公司（栄レー

ス株式会社)様工場見学を実施致しました。レースの生産現場に入ることはなかなか出来ない経験であり、また世界最古のレース製造機を見学でき非常に有意義な見学となりました。

### 3. 2020年度の活動方針、抱負

コロナウイルスの影響が大きい現状であるため、収束後の方針・抱負になりますが、今後も繊維部会メンバーの情報提供、交流の場として更に深めていきたいと考えております。2020年度に繊維部会を何回開催できるかはまだ不透明であります。開催が可能となった時には、是非繊維部会を計画・実行したいと考えております。

繊維業界は非常に厳しい状況であり、お忙しい中、部会に参加して頂く皆様に部会としましては、業界に参考になる情報提供と共に異文化交流の体験学習等も実施し会員の参加を促し有意義な部会とできるよう、幹部で考えて行きたいと思っております。本年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

#### 《機械・電機・化学部会》

部会長 松沢 隆  
副部会長 武田 裕之、端 彰一郎、前田 逸朗

##### 1. 総括

2019年度は、4月26日に飲食店にて懇親会を行いました。参加者は15名。部会からの参加は幹事2名を含め6名。異業種交流的な会合となりましたが、盛況な会となりました。

##### 2. 2020年度の活動について

機械・電機・化学部会では、会員企業様の事業領域が多岐に渡り、共通の課題を見出しづらいこと、青島市外に拠点を構える製造業が多いこと、比較的業務範囲が広く、特に出張やアテンド対応が頻繁に発生することなどから、時間的な制約が多く部会の開催頻度が他部会に比べ少ない状況にあります。

以上の状況を踏まえ、2020年度につきましても、年1-2回の開催を考えております。

#### 《流通サービス部会》

部会長 佐藤 冬樹  
副部会長 井上 薫、川田 正博、藤井 申明、廣田 至夫

##### 1. 総括

流通サービス部会は運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つけるのが大変ななか、なるべく皆様に興味を持っていただけるようなテーマの講演や、会員の知見を深める見学活動などを企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用いただければと考えております。

2019年度は、以下の部会活動を行いました。

#### 第1回部会（7月26日：金） 懇親会

2019年度は市内のイタリアンレストランで懇親会を1回開催し、会員間の親睦を図りました。ご参加いただいた会員の方々にも有益な機会をご提供できたものと思います。年度後半にセミナーや越境ECサイト見学の企画を検討しましたが、講師日程調整がつかなかったり、サイト見学の受入れが難しく、年明けからの新型コロナウイルス対応もあり、部会活動は一回のみとなりました。

## 2. 2020年度の活動について

2020年度も会員企業の様々なニーズにお応えして当地での事業活動のお役にたてるような活動をして参りたいと考えています。講演のテーマや見学・訪問先について、また部会活動のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

2020年度は2回～3回程度の部会開催を予定しています。第1回（6月～7月中の開催を予定）は新しくご赴任された会員企業との交流を目的とする、懇親会を中心とした活動を予定しております。ぜひ会員の皆さまの多数参加をお待ちしております。

### （3）生活文化会 活動報告

生活分文化会会長 森 賢司

副会長 川田 正博、小林 祐介

酒井 康雄、猪子 悟史、福永 護

#### 1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動、生活文化関連のさまざまな取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「7つの同好会（2020年4月1日現在）」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

#### 2. 主な行事活動

2019年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催でさまざまな行事を企画し、会員の皆さまのご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2019年

度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、ご報告申し上げます。

#### ①青島日本人会運動会 6月15日(土)

青島日本人学校の体育館にて時期を6月に早めて開催。当日は約150名の方々にご参加いただき、赤、白、青の3組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、障害物競走、玉入れ競争、借物競争、チーム対抗リレーと各種競技に熱戦を繰り広げました。そして、今回も優勝の行方は最後のプログラムである綱引きに持ち込まれ、各組が死力を振り絞る熱戦となりました。最後まであきらめずに綱を引く姿は、競技に参加している人、応援している人の一体感を最高潮に高め、最終種目に相応しい盛り上がりとなり、逆転に次ぐ、逆転で最後まで優勝の行方がわからない白熱した運動会となりました。他の競技でも、ご家族揃ってご参加される姿も多く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

#### ②納涼祭り 8月24日(土)

「子供たちのために、子供たちが喜ぶイベント」として始まったこの納涼祭も7年目を迎え、昨年同様麗晶大酒店(リージェンシーホテル)の屋上テニスコートにて中国人の方も含めて約400名の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。

祭り当日朝はやや小雨の残る天気でしたが、午前中には晴れ間が戻り開場と同時に大勢の方が来場され、「焼きそば」、「お好み焼き」をはじめとし、ここ青島にある有名店の美味しい料理に舌鼓を打ち、夏祭りの定番である「金魚すくい」、「スーパーボールすくい」、「ヨーヨー釣り」、「ストラックアウト」や「すいか割り」、「輪投げ」などのゲームで、会場は子供たちの笑顔と熱気に包まれました。

祭り中盤の盆踊りでは、PTAや婦人会、日本人学校の方々にご協力をいただき、大人と子供が一体となり、祭りはフィナーレを迎え、ご家族揃って日本の夏祭りを十分に満喫していただけたのではないかと思います。

#### ③8回青島ジャパンデイ 11月2日(土)～11月3日(日)

2019年に引き続き、在青島日本国総領事館、ジェトロ青島事務所、日本政府観光局北京事務所、青島イオン、日本人会等の後援及び協賛により、青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンデイが開催されました。会員企業を含む20の日系企業や団体が日本食、日本製品などのブースを出展。沖縄県、宮崎市といった日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介、柔道・合気道・琴演奏・マグロ解体ショーといったデモンストレーションによる日本文化の紹介が行なわれました。

両日ともに、多くの中国人来場者がブースを訪問し、試食や実際に商品を手に取り、日本への関心が高まったものと実感しました。総来場者数は前年をやや下回った感もありますが、販売額は前年より多く、また前年同様に来場者の半数以上が訪日の経験を持っていることがわかりました。まだ訪日されていない方々も日本への関心は高いようで、ジャパンデイはジャパンプランドの紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力等を発信する目的を十分果たしているものと思います。

#### ④新年会 2月9日(日)：中止

青島日本人会最大のイベントである新年会を、シャングリラホテルにて開催予定でありま



したが、新型コロナウイルス蔓延による影響にて開催中止としました。

多くの企業様より早々に協賛品の準備をいただき、また多くの会員の皆様にお申込みをいただいております。理事会にて間際まで開催の検討を続けましたがご参加いただく皆様の安全を考慮し、断腸の思いで中止を決定いたしました。

### 3. 総括

2019 年度に実施した納涼祭り、青島ジャパンデイ開催にあたっては、さまざまなご支援、ご協力をいただいた関係各位、ご協力いただきました会員企業の皆さま、開催前の事前準備、当日朝早くから会場で準備頂いた皆さま、会運営にご協力いただいた婦人会、同好会、日本人学校の先生方をはじめとするボランティアの皆さまのお蔭で、会員相互の交流、親睦を深める非常に有意義な行事とすることができましたことをあらためて御礼申し上げます。

そして残念ながら中止を余儀なくされた新年会においては、中止決定までの間にも数多くの協賛品の搬入をいただいております。協賛企業の皆様へ改めて感謝申し上げます。来年は必ず開催ができるよう、日本人会理事会、生活文化会としても切に願っております。

引き続き生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、「ちんたお文庫」を運営しております。長年銀都花園にあった文庫も今年は日本人学校へ移転し1年以上が経過いたしました。より充実した文庫数、蔵書環境が整っております。移転後の運用においては、返却、貸出方法において改善のご要望へもお応えしておりますので、引き続きのご利用をお待ちしております。更に婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨット、卓球の体育会系同好会と写真、青島歴史研究会の文化系同好会、そして青島での生活における安全という面で総領事館と連携しながら活動しています。以下にそれらの活動報告を載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

2020 年度は様々な活動への制限が出てくるかと思いますが、今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 《ちんたお文庫活動報告》

前期役員 武田、小谷  
後期役員 小谷、中山

文庫蔵書総数	5381
冊（昨年度）	
新規会員年間総数	15 人
年間利用者延べ数	255 人
寄贈本年間冊数	426 冊

## 1. 役員活動内容

- ・アルバイトへの仕事内容指示、チェック（随時）
- ・文庫休館のお知らせ作成
- ・文庫内の大掃除の計画・実施
- ・蔵書整理（古い本の処分など）
- ・帰国者などの管理（利用者カード・ボランティア名簿）
- ・利用者状況調査（月1回集計・日本人会へ報告）
- ・各情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整（月1回）

## 2. 今年度活動報告

- ・役員会（日本人会にて2回）
- ・ちんたお文庫ボランティア（2020年3月現在登録者14名）による文庫の大掃除  
第1回：5月30日 参加数 10名 第2回：11月20日 参加数 9名
- ・月刊青島『ちんたお文庫便り』の掲載（2016年4月より季刊発信）  
内容：おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内等
- ・備品購入(ブックエンド、USB)

## 3. 総括

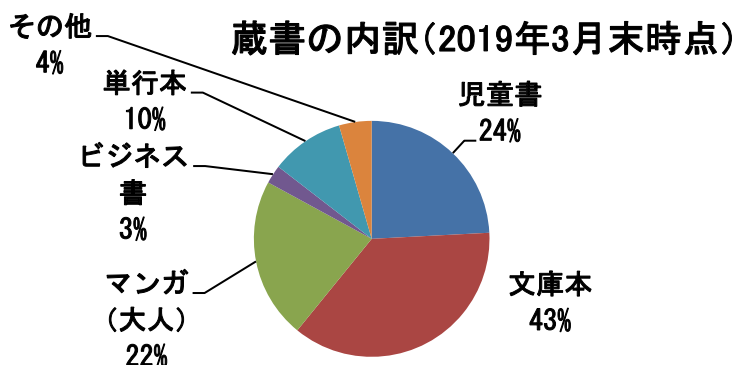
日本人学校への移転後は、開館日や開館時間も少なくなり、交通の便も良くないため、利用者が大幅な減少傾向にあります。また、新型コロナウイルスの影響により1月の春節以降は休館をせざるを得ない状況が続いています。そのため、例年の4分の1程度の来館者数だった昨年度と比べても、さらに利用者が少ない結果となりました。

本年度の取り組みとして、ちんたお文庫入り口に返却ボックスを設置し、日本人会での返却本・寄付本の受付を開始しました。これにより、ご利用いただく方の返却時の負担軽減につながると思われます。さらに、来館される方が新しい本を探しやすいよう新規登録本の専用棚を作るなど、文庫内の環境も整えました。

また、利用方法や場所を詳しく知らない方も多いため、日本人学校PTA総会や各種チャットなどで利用案内等を送り、ちんたお文庫についてお知らせしました。アルバイトさんの夏休みや冬休みは長期閉館することとなり、そういった開館時間についての案内も随時チャットで送りました。

学校行事が開館日と重なる際などは、開館時間を調整して周知することで、その日に来館される方が増えました。

なお、帰国される方などから多くの寄贈本をいただきましたが、蔵書の総数や内訳については、現在のところ数えることができておりませんので、参考までに、前年度の内訳グラフを提示いたします。



#### 4. 次年度への課題

次年度への課題としては、ちんたお文庫の周知、来館者を増やすこと、ボランティアの増員の3点が挙げられます。

本年度は、日本人学校の保護者の方々への周知を行ったことにより、学校行事やクラブ活動などで足を運んだ際に立ち寄っていただくケースが増えました。ただ、未就学児のお子様がいらっしゃるご家庭については、周知をしたものの、ご来館いただく機会が少なかったことが残念です。

学校関係者以外の方からは「どうやって入ったらよいか分からない」「休日の学校には入りづらい」という声が多く聞こえました。

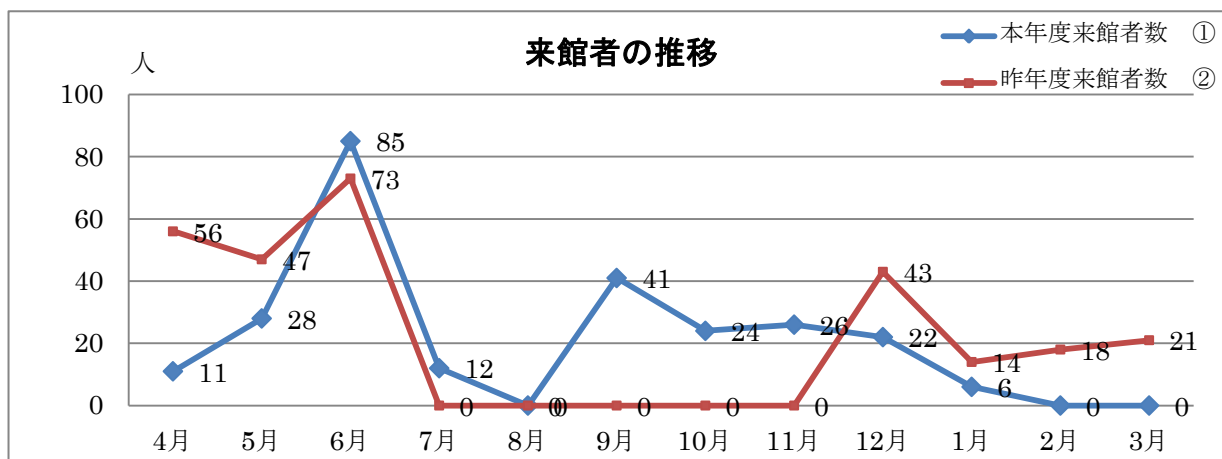
ちんたお文庫では、児童書だけではなく、ビジネス関連の書籍や小説、新書などを多く寄贈していただいております。部屋も広くなったため、蔵書の種類は移転前よりも豊富になっていますので、幅広い方が来館しやすくなる取り組みが必要だと思えます。

また、ボランティアについては、現状日本人学校の保護者の方々を中心です。人数も少ないため、役員を選出についても困難な状況が続いています。ボランティアメンバーの増員は、幅広い方への周知や来館者を増やすことにもつながりますので、より多く範囲の日本人の方々にご協力いただける体制づくりが今後の課題だと思われます。

次年度も引き続き、さまざまな問題を改善し、利用しやすい環境作りに努めてまいります。今後も青島在住の皆さまに気持ちよく利用していただける図書館になるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

資料：年間来館者の推移（2020年3月末日現在） ※2～3月は休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数 ①	11	28	85	12	0	41	24	26	22	6	0	0	255
昨年度来館者数 ②	56	47	73	0	0	0	0	0	43	14	18	21	272
増減数①-②	-45	-19	12	12	0	41	24	26	-21	-8	-18	-21	-17
新規会員	3	0	6	0	0	2	3	0	1	0	0	0	15
新規登録本	44	44	47	24	0	28	15	45	92	0	0	0	339



### 《情報誌「月刊青島」》

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・JETRO・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、「婦人会通信」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、会員の動向等の情報を掲載しています。またOBによる料理コーナー、「ふるさと自慢」といった連載もあります。

本年も日本人会会員の皆さまの役に立つ生活情報の発信や、青島におけるご縁を大事にして多くの会員の皆さまに誌面に登場していただけるような記事を引き続き掲載していきたいと考えております。

「月刊青島」は日本人会会員の皆さまのご協力・ご支援をいただき、そして皆さまに支えられて発信を行っています。WEB情報誌の編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

### 《青島歴史研究会》

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様（故人）を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

残念ながら、先輩の不幸や体調不良で、特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。

2017年度の交流では、戦前のOBで構成される「青島会」の解散会が11月14日グランヴィア大阪ホテルで全国から100名を超える参加者で盛大に開催されました。皆さんお元気で今回をもって解散することは仕方ないけれども名残惜しいというところを残し、万歳三唱して終了しました。なお会より日本人学校に寄付金をいただきました。

また、青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。

さて、30周年になり記念すべきところ新型コロナウイルスによって収束をねがうのみとなっております。「青島会」と連絡を取りながら、戦前と戦後をつなぐ「青島の日本人」の足跡を残す活動ができればと思っています。

## 《婦人会》

会員数：39名（2020年3月31日現在）

### 1. 総括

婦人会の活動としては、2019年度とあまり変わらず、4月の婦人会総会、6月と11月の定例バスツアー、12月のクリスマスが主なものとなりました。時間帯もやはり朝から昼食後2時間ぐらいまでとなっています。人数は昨年に比べ若干増えましたが、やはり青島在住の婦人に浸透しているとは言えない状況にあります。

### 2. 2019年度の活動報告

上記のとおり、4月の総会后、5月・10月に定例バスツアーを、また12月にはクリスマス会を実施しました。本年の連絡は引き続き WeChat を主な手段としています。これは簡便な反面、あまり長い文書は読みづらい、イベントへの参加意向につき、他の方の回答状況を見ることが出来るため、様子を見てから決めようとされる方が多く、集計が最後まで取りにくいといったデメリットもありました。

2019年度春のバスツアーは2017年度に好評だったお茶摘み体験にしました。緑茶のできる工程を経験することができ、有意義であったと感じています。秋はこれも毎回好評のオタフク食品様の工場見学をいたしました。また、クリスマス会には婦人会メンバーによる歌と楽器の演奏を楽しんだあとは恒例のビンゴゲームを行いました。

夏の納涼祭では楽器体験コーナーを設けて、来られた方々に二胡、琵琶、ウクレレの体験をしていただきました。

2019年度から会員は少しずつ増えて、活動も活発になりつつあっただけに、今回の新型コロナ肺炎の流行はとても残念なできごとです。まだ多くの会員が青島に戻ることができないでいます。一日も早くこの状況が好転するよう祈っております。

### 3. 2019年度の活動内容

2019年4月 総会（シャングリラホテル）  
5月 定例会（崂山茶摘み体験）  
10月 定例会（大多福食品見学）  
12月 クリスマス会（VERDE）

### 4. 2020年度の抱負として

現在役員の改選もできず、19年度役員もほとんどが青島にはいない状況にあります。それでも今おられるメンバーや今後戻って来られるメンバーのために、より生活に役に立つ婦人会でありたいと思っていますので、皆様のアドバイスやご意見を頂戴できればうれしく思

っております。

## 5. 2020 年度に予定している行事

今は予測ができないというのが実情ですが、状況が回復次第、時期にこだわらず興味を持っていただけるような活動を考えていきたいと思っています。

「冬来りなば春遠からじ」の言葉もあります。きっとメンバーの皆さんとまた集える日が来ると信じております。

## 《ゴルフ同好会》

会長 正村 匡  
事務局長 川畑 啓樹  
会長 矢部 人司  
事務局長 川畑 啓樹

### 1. 活動状況報告

- |           |              |            |      |
|-----------|--------------|------------|------|
| ① 第 130 回 | 03 月 31 日(土) | 華山ゴルフ倶楽部   | 48 名 |
| ② 第 131 回 | 05 月 19 日(土) | 華山ゴルフ倶楽部   | 50 名 |
| ③ 第 132 回 | 07 月 06 日(土) | 青島国際ゴルフ倶楽部 | 40 名 |
| ④ 第 133 回 | 09 月 07 日(土) | 嶺海ゴルフ倶楽部   | 47 名 |
| ⑤ 第 134 回 | 11 月 30 日(土) | 華山ゴルフ倶楽部   | 43 名 |

延べ参加者数 228 名

2019 年度は上記の通り 5 回のコンペを開催し、延べ 228 名の方々にご参加いただきました。多くの方にご参加頂き、誠にありがとうございました。加えて、数多くの企業、団体、個人の皆さまから賞品をご提供いただきました。

賞品をご提供くださった皆さまにあらためて感謝の意を表しますとともに、今後も無理のない範囲で会員の皆さま方からのご協力、ご協賛をよろしくお願い申し上げます。

また昨年度に引き続き 6 月に初心者向けのゴルフ練習会を実施しました。20 名程の方に参加いただきました。

### 2. 2020 年度の活動について

2020 年度は 3 月 28 日に第 135 回を開催予定でしたが、残念ながら中止と致しました。

次回のコンペは 5 月 23 日（土）を予定しておりますが、新型コロナウイルスの影響等を考慮し、皆さんの安全第一で実施の可否を検討したいと思います。（実際に実施できるかは未定ですが、今年度は以下の日程でコンペを予定しております。）

今年度も「敷居の低い、誰もが楽しめるようなコンペ」を開催していくとともに、ゴルフレッスン等、若い方やゴルフ経験の少ない方にも積極的に参加していただける企画を行っていく予定です。

ベテランゴルファーの方も、初心者ゴルファーの方も、青島で新たなゴルフの魅力を発見し

ていただけるよう、皆様のご協力のもとで運営していきます。

①03月28日(土)中止

②05月23日(土)未定

③07月04日(土)未定

④09月05日(土)未定

⑤11月28日(土)未定

連絡先：藤田 携帯 158-6306-5977

メール [yuki.fujita@mizuho-cb.com](mailto:yuki.fujita@mizuho-cb.com)

ウィーチャット fjtyk95inchina

## 《テニス同好会》

会長 大橋 勲

### 1. 会概要

目的： テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る

会員数： 2019年3月現在、35名(男性26名/女性9名)にて運営

会費： 600元/半期(高校生以下は300元)

活動場所/時間： 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30～12:30

練習内容： 9:30～11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00～12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30～ 昼食会、但し自由参加)

### 2. 年間活動

定期活動： 毎週日曜日の定期練習

イベント： 4月 チーム内紅白戦

11月 ハロウィンテニス

12月 チーム内紅白戦、クリスマス会

12月 韓国チームとの交流戦

対外試合： 6月 青島市城市緑動杯(韓国、中国チームとの団体戦)

9月 青島杯(青島最大の韓国、中国チームとの団体戦)

10月 第40回秋季クラブ対抗戦(上海)

11月 山東省城市緑動杯(韓国、中国チームとの団体戦)

12月 第15回深圳商工会テニス大会(深圳)

\*送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

#### 【収支】

前年度繰越金 38,334 元

19年度収入 43,430 元

19年度支出 30,739 元

次年度繰越金 51,025 元

### 3. 総括

2019年度は、1月春節迄は、ほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。しかし新型コロナウイルスの影響で、春節以降活動休止となりましたが、3/22より活動を再開しております。本年度も昨年に引き続き、上級者から初中級者、小学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入部され、活発にテニス活動を続けております。

メンバー一同は、日々技術向上を図っており、上級者については、6月に開催された青島市の大会で、13年ぶりに準優勝に輝き、11月に開催される山東省大会の代表に選ばれました。山東省大会でも予選を突破しベスト8まで進出でき飛躍の一年となりました。その他9月青島最大の大会「青網杯」でベスト8、上海開催の日本人団体戦で1,2リーグベスト16まで進出することができました。また、初中級、上級者ともに、日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やクリスマス会などのイベントを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2020年度は、上位チームは各大会で優勝を目指す、初中級チームは、交流戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

#### 《ソフトボール同好会》

会長 小森 茂樹

#### 1. 同好会概要

創部 22年目になった今年も「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的にグラウンド内外で会員相互の交流を深めました。

2019年12月末現在、一般会員43名（男性42名／女性1名/内子供5名）からなり、小森会長が会員より選出した12名の委員で運営委員会を構成しています。（運営・企画、会計、事務局の3部門と2チーム）

活動場所：青島科技大学グラウンド

活動時間：毎週日曜日午前8時15分～正午

年会費：男性700元、女性350元、学生300元、未成年200元、

家族・夫婦1000元

#### 2. 年間活動

今年も2チーム制でリーグ戦を実施することとし1月のドラフト会議で本戦を戦う2チームの選手を決定し3/19に開幕戦、11/12を最終戦とした9ヶ月に及ぶ青島ソフトボールリーグ戦2019を開催しました。

毎週日曜日に総当り戦2試合を実施、各チームが計39試合を消化し11/12の優勝決定戦を経て2019年度優勝チームを決定しました。12/7に優勝チームと優勝選手の表彰を同好会総会にて実施しています。



### 3. 特別活動

5/12 に毎年恒例の黄島チームとの交流戦を実施しました。今年は黄島チームを青島に招き、交流戦後は焼肉に舌鼓を打ちながら親睦を深めました。また、7/20-21 には上海と杭州から日本人チームを青島に招き、青島観光・交流試合・懇親会を行い、他地域との親睦も深めております。8/1 地元青島の中国人チームとの交流戦を実施しました。

11 月には同好会発の試みとなる海外遠征を行いました。タイ・バンコクに遠征し、交流戦・懇親会を実施しております。この他、懇親会やゴルフコンペ、BBQ など多彩な行事を開催しました。また、日本人会主催の活動にも参加・協力しました。

- 1 月 ドラフト会議／新年会
- 3 月 オープン戦／前期開幕戦／プレイボールパーティ
- 5 月 黄島チーム交流戦
- 6 月 前期終了／BBQ パーティ／
- 7 月 後期開幕／上海・杭州チーム交流戦／ゴルフコンペ
- 8 月 中国人チーム交流戦
- 10 月 後期終了／ゴルフコンペ
- 11 月 優勝決定戦／タイ遠征
- 12 月 同好会納会／忘年会

2019 年度は帰任・異動に伴い 10 人の方の壮行会を行いました。13 人の新入会員を迎え会員は昨年度対比 3 名増加しました。これは会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様のご支援のおかげと感謝いたします。ありがとうございます。2020 年度も笑顔の絶えない明るく楽しい魅力的な同行会活動を推進していきます。

#### 《ヨット同好会》

代表：西垣 健作

会員：大人 6 名、子ども 5 名

#### 1. 同好会概要

本同好会は青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与することを目的としていました。

#### 2. 年間活動報告

19 年 6 月 22 日に銀海マリーナでヨット体験会を開催し大人 20 名、子供 15 名参加されました。その後、7 月より 10 月まで大人 5 名、子供 5 名がディンギーレッスンを受講しました。

#### 3. 2020 年度の目標

今のところ未定です。

## 《写真同好会》

会長：牛坊 茂和

### 1. 同好会概要

写真同好会では青島キヤノン様のサポートを受けて、毎月一回定例会(金曜の夜)を開催しています。撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゅにけーしょん青島」に掲載されます。

### 2. 活動報告

定例会では、持ち寄った作品の感想を述べあったり、撮影方法、撮影の苦労話等でおなじ趣味の仲間たちで、楽しく開催しております。

不定期ですが、撮影会や撮影旅行を予定しております。

写真撮影にご興味のある方(携帯写真を含む)のご参加をお待ちしております。

20年度も皆様の思い出を記録するお手伝いをさせていただきます。

月	開催地	月例会テーマ		
4月	キヤノン青島事務所	スナップ	モノクロ	自由
5月	キヤノン青島事務所	躍動	建物	自由
6月	キヤノン青島事務所	初夏	携帯	自由
7月	キヤノン青島事務所	夜景	水	自由
8月	キヤノン青島事務所	飲み物	夏	自由
9月	キヤノン青島事務所	空	元気	自由
10月	キヤノン青島事務所	食	赤	自由
11月	キヤノン青島事務所	モノクロ	携帯	自由
12月	キヤノン青島事務所	秋	街	自由
1月	キヤノン青島事務所	イベント	物	自由
2月	※1	春節	冬	自由
3月	※2	食べ物	窓	自由

※2, 3月はコロナの影響により会合を取り止め、メール・ウィーチャットでのやり取りにしました。

## 《卓球同好会》

会員 15名(2020年3月現在)

### 1. 同好会活動目的

- ① 卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ② 卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

### 2. 日常の活動

定例練習日：

毎週水曜日 18：30-20：30

毎週土曜日 16：00-19：00

会費の徴収：

会費としては、場所代として当日参加者から、1人あたり30元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

### 3. 2019年度に実施したイベント

- ① 2019年5月 青島における日中韓の卓球クラブが集い、交流試合を開催
- ② 2019年9月 日本の卓球愛好家と上海・蘇州の愛好家を招いて交流試合
- ③ 2018年3月 青島韓国人卓球クラブと交流試合

このほか、帰任・転勤のため青島を離れるメンバーがいる場合、その都度新しいアイデアを盛り込んだイベント試合を実施しています。毎年参加している、在中国日本人卓球クラブの合宿は、コロナの影響で中止となりました。

### 4. 2019年度の総括

以前にあった青島国際商会杯が行われなくなったため、自ら主催して日中韓のクラブの交流試合を行ったことはよい経験となったかと思います。最後の3か月はコロナの影響でほとんど活動はできませんでした。

### 5. 2020年度の目標

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。まだしばらく諸々の制限は続くかと思われませんが、できる限り卓球を通じて青島の日本人の皆様が多くの方と交流でき、実りある生活を楽しめるよう、お手伝いをしていきたいと考えています。

#### (4) 2019年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井伸明

副理事長 佐藤冬樹

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

当校も新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響を免れることができず、春節後の2月3日より青島市教育局からの指導による休校措置が続いています。斯かる厳しい状況においても、金森校長をはじめとする当校教職員は青島に踏み止まり、臨時休校、またその後の春休み期間中において、児童・生徒への変わらぬ愛情と情熱を持ってネットでの在宅課題等を通じて学習指導を続けました。当校最大の特徴である少人数教育の利点が活かしていると言えます。

年度末の式典については、3月7日に当校体育館において井川原賢総領事を来賓としてお招きし、また本邦に帰国中の卒業生に付いては ZOOM オンラインにて参加の上、卒業式（小学部6年生15名、中学部3年生4名）を、3月11日に修了証授与式及び教員離任式（金森孝子校長、富川淳教頭、福留さゆり教諭）、また各学年でのクラス交流会を同様に ZOOM にて滞りなく挙行致しました。これにより難しい状況の中、形を変えざるを得ませんでした。例年同様に児童・生徒、教職員、また保護者、理事会等当校関係者の多くが参加し、喜びや感動を共有することができました。

さて、2004年に創立した青島日本人学校は、2008年に現在の新校舎での学習を開始し、本年度も外国語（英・中）の授業や学習機材の充実、児童・生徒のアイデアを活かした独自のキャラクター（パンたお）を通じた学校での一体化の醸成など、教職員は児童・生徒と共に各種施策の実行・継続を着実に行いました。大変充実した学習環境の下、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」、中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、日本全国から集まった個性溢れ教育に熱心な教職員と共に、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成を行いました。当校の大きな特徴として児童・生徒たちは学年の垣根を越えた友情を育み、青島現地小・中学校、下関市小学生派遣団、また当日本人会会員とも校外活動や日本人会イベント、職場体験・キャリア教育等を通じた交流を深めています。現代社会でますます重要視されている人と人との結びつき・コミュニケーション力の具備において得がたい経験をしております。

今年度も生徒数は安定的に推移し、3学期終了時点で79名（小学部63名、中学部16名）の在籍となり、これにより学校財政は、学費収入に加え日本国政府からの補助金、皆様のご厚意による寄付も頂き、略予算通りに執行し、健全性が保たれました。

今回の新型コロナウイルス感染の状況対応を含めて、在青島日本国総領事館や青島日本人会の皆様から多大なるご支援、ご協力を頂戴しており、この場をお借りし心より御礼申し上げる次第で

す。

離任された金森孝子校長、富川淳教頭、福留さゆり教諭、日本から離れた青島の地で児童・生徒に素晴らしい教育を施して頂き感謝の念に堪えません。また留任される教職員の皆様も難しい状況が続く中、児童・生徒のための真摯なご対応を継続頂き、感謝申し上げます。

新年度、当校運営理事会理事長は藤井伸明から小林祐介に交代致します。引き続き新体制にて学校運営上の様々な難局を乗り越えるべく、取り組んで参ります。青島日本人会員の皆様のご支援を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

#### 【主な活動実績・決議事項】

##### ■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議
- ・ 各種報告（校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他）
- ・ 学校を取り巻く様々な課題への対応

##### ■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催（年 10 回、令和 2 年 2 月度理事会は休会）
- ・ 青島日本人学校入学説明会（2 月、中止）
- ・ 入学卒業式、運動会、学習発表会等の学校行事陪席

#### 【学校案内】

名 称：青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

校 長：金森 孝子（2017 年 4 月着任、2020 年 3 月離任）

教職員：文部科学省派遣教員（校長含む）9 名、現地採用教員 4 名、  
事務職員 3 名

住 所：青島市市北区同安路 56 号

学 費：入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月  
（別途、スクールバス・PTA 会費他）

第2号議案

2019年度会計報告  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：人民元)


収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	874,073	1. 事務局費	254,605
		2. 商工会活動費	34,510
2. 2019年度会費収入	661,400	全体会	24,810
法人会員	653,800	部会	9,200
個人会員	7,600	地区分科会	500
		3. 生活文化関連費	75,272
3. 臨時会費収入	27,000	婦人会	2,100
・総会懇親会会費	27,000	ちんたお文庫	12,732
・新年会会費	0	運動会	1,533
		月刊青島	12,000
4. 銀行利子	4,758	歴史保存会	0
		納涼会	32,907
		公認同好会支援	14,000
		社会奉仕	0
		4. 会議費	54,486
5. その他(寄付、敷金返金等)	7,850	総会	54,486
		新年会	0
		5. 日本人学校支援費	99,630
		6. ジャパンデイ等文化催事	10,800
		7. 情報整理(HP改修等)	0
		8. 次年度繰越金	1,045,778
		(学校支援金20万元含む)	
<b>【 合計 】</b>	<b>1,575,081</b>	<b>【 合計 】</b>	<b>1,575,081</b>

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第29期(2019年4月1日～2020年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2020年4月10日  
青島日本人会監事



Handwritten signature and red seal of the auditor, Takahashi Takashi.

第4号議案

2020年度 青島日本人会 理事及び監事（案）

名前		所属企業名	職位
理事	青木 功	青島嘉都麗時裝有限公司	総経理
理事	浅井 義広	豊島国際（上海）有限公司 青島分公司	総経理
理事	荒木信太郎	日郵物流（中国）有限公司青島分公司	
理事	井上 薫	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	小林 祐介	日本興亜財産保険（中国）有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	酒井 康雄	依摩泰（青島）商貿有限公司	総経理
理事	佐藤 冬樹	三菱日聯銀行（中国）青島分行	支店長
理事	杉田 貴史	カケンテストセンター青島試験室	室長
理事	高橋 英明	みずほ銀行（中国）有限公司 青島支店	副支店長
理事	滝浪 晋	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	武田 裕之	青島新東機械有限公司	総経理
理事	谷 直知	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
理事	坪井 康人	上海住友商事有限公司青島分公司	
理事	能勢 稔彦	伊藤忠（青島）有限公司	総経理
理事	端 彰一郎	東麗医療科技（青島）股份有限公司	総経理
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長
理事	別所 良起	青島誠誉食品検測有限公司	総経理
理事	本多 亮	三菱商事（青島）有限公司	総経理
理事	前田 逸朗	青島松下電子部品（保税區）有限公司	総経理
理事	松村 淑子	日本貿易振興機構（JETRO）青島代表処	所長
理事	松本 秀二	新日清制粉食品（青島）有限公司	総経理
理事	山本 正広	青島扶桑精製加工有限公司	副董事長
理事	吉田智久美	在青島日本国総領事館	首席領事
監事	泉 貴成	青島泰宝美客食品有限公司	中国事業部長
監事	片淵 修	獅王日用化工（青島）有限公司	董事

## 第5号議案

### (1) 2020年度事業活動計画

青島日本人会会長  
廣田 至夫

#### 1. 全般

2020年、青島日本人会は設立30周年を迎えました。本来であれば大変喜ばしい節目の年ではありますが、今日現在、世界はこれまでに経験したことがないほどの危機を迎えています。中国の一都市で起きた事象が、あっという間に世界を暗転させるほどのことになると、想像できた方はそう多くなかったのではないのでしょうか。

青島における街中の様子は徐々に元に戻りつつありますが、今は駐在員の帰任・赴任が増える年度の変わり目であることと、中国の入国規制が続いていることから、われわれ青島日本人会もスムーズな体制移行に苦慮しています。しかし、このウイルス禍にも必ず終わりが来ます。われわれはそれ以降も見据えて準備をしていく必要があります。また、この問題が世界経済に及ぼしている影響の大きさを勘案すると、収束後の世界では何かが以前と変わっている可能性があることも留意すべきでしょう。

今年度の具体的活動については、このウイルス禍がいつどのように収束していくかに影響されるところが多分にありますものの、在青島日本国総領事館・ジェトロ青島事務所との連携や青島市政府との協力を従来以上に重視して、常に幅広い視野と高いアンテナを以て、環境の変化にしなやかに対応していくことを目指します。そして、青島の日本人社会がより明るく活気にあふれたコミュニティとして発展できるよう、皆様の生活環境ならびに企業活動環境の整備向上につながる活動に引き続き取り組んでいきます。

会員の皆様には今後も更なるご支援・ご協力を頂戴いたしたく、日本人会の活動に対し、ぜひ積極的にご参加いただくとともに、ご意見をお寄せいただけますよう、よろしくお願い申し上げます

#### 2. 活動計画

- (1) 青島市政府との関係強化
- (2) 青島日本人学校の運営
- (3) 在青島総領事館・ジェトロ青島との連携
- (4) 他地域日本人会・組織ならびに他国コミュニティとの交流
- (5) 地域貢献活動
- (6) 青島日本人会組織体制の整備・改善



## (2) 商工会

商工会会長  
谷 直知

### 1. 2020 年度活動方針

青島日本人会商工会は、青島における会員企業の円滑な活動をサポートすることを第一の活動方針といたします。とくに 2020 年度はコロナウイルスの影響が残るなかで山東省、青島市としても様々な経済復興の取り組みがなされ、会員企業を取り巻く経営環境も大きく変化することが見込まれます。事業の継続に必要な政府からの支援策や諸制度の変更に関する情報、また地域の経済、社会、企業の動向につきまして、商工会は地域政府とみなさまを結ぶ窓口として機能し、情報提供・情報共有を積極的に図ってまいります。

また昨年来、山東省自由貿易試験区や青島市西海岸新区における国際ビジネスハブ構想など、日中あるいは日中韓の企業間の連帯のためのプラットフォームづくりの機運が高まっております。ウイルスの影響によって予断は許されませんが、習近平国家主席の訪日が秋に実現しますと、日中のさらなる経済協力と貿易における規制緩和が進むものと思われまます。本年度後半についてはそれらを背景とした経済活動の緊密化や文化的な交流の促進といった活動も視野に入れ、会員企業の皆様と活動してまいりたいと思ひます。

### 2. 各部会活動

「食品」、「繊維」、「機械・電機・化学」、「流通・サービス」の各部会でセミナーや工場見学会、懇親会などの開催を通して会員企業同士の情報交換と交流の場をつくりまます。

### 3. セミナー開催

在青島日本国総領事館、ジェトロ青島事務所との連携をベースに、会員企業の青島での活動に有益な情報を提供まます。とくにウイルスの影響で昨年度に計画したものの未実施となっているセミナーについては、適切なタイミングで実施していく予定です。

### 4. 政府関係機関、地域社会との交流

山東省、青島市の各政府機関および在青島日本国総領事館、ジェトロ青島事務所と良好な関係を構築し、会員企業のみなさまの当地におけるスムーズな企業活動、および地域社会への貢献活動のサポートにつとめまます。

みなさまどうぞよろしくお願ひいたします。

第6号議案

2020年度予算案  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金 (学校運営補助金20万元含む)	1,045,778	1. 事務局費	279,000
		2. 商工会活動費	67,000
		全体会	35,000
2. 2020年度会費収入見込	635,000	部会	20,000
法人会員(300社*2100円)	630,000	地区分科会	12,000
個人会員(25*200円)	5,000	3. 生活文化関連費	61,000
		婦人会	3,000
3. 臨時会費収入見込	100,000	ちんたお文庫	22,000
・新年会会費	100,000	月刊青島	12,000
		歴史保存会	2,000
		公認同好会支援	22,000
4. 銀行利子見込	5,000		
		4. 会議費	130,000
		新年会	130,000
5. その他(寄付など)	0	5. 日本人学校支援費	100,000
		6. 文化関連費	22,000
		7. 情報整理(HP改修等)	5,000
		8. 活動予備費	70,000
		9. 次年度繰越金	1,051,778
<b>【 合計 】</b>	<b>1,785,778</b>	<b>【 合計 】</b>	<b>1,785,778</b>